

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市石川記念武道館	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 株式会社明治スポーツプラザ ・代表者名 代表取締役社長 後藤 聖治 ・住所 川崎市幸区堀川町580番地	評価者	地域振興課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	令和元年度	4,225	4,137	4,314	4,685	3,732	4,193	4,050	4,201	3,322	3,495	3,707	1,004	45,065	
	令和2年度	145	0	930	1,741	2,370	2,854	2,863	3,018	2,538	1,576	1,653	2,053	21,741	
<small>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次のとおり営業の制限を実施した。 令和2年4月1日～10日:個人利用停止 4月11日～5月31日:全館休館 6月1日～:団体利用再開(人数制限あり) 7月17日～:個人利用再開 令和3年1月9日～3月21日:夜間の団体利用・教室休止、スポーツターの夜間短縮営業(20時まで) 3月22日～3月31日:夜間の団体利用・教室休止、スポーツターの夜間短縮営業(21時まで)</small>															
収支実績(千円)	収 入	指定管理委託費	13,360												
		利用料金収入	2,986												
		補償費	1,549												
		事業収入他	1,131												
		収入計	19,026												
	支 出	管理運営費	17,271												
		支出計	17,271												
		収支差額	1,755												
サービス向上の取組	・明るく元気で親切な職員対応が徹底されており、利用者の年齢・性別・来館頻度等に関わらず、良好なコミュニケーションを築いている。 ・館内を常に清潔に保ち、破損箇所は速やかに修繕するなど、快適で安全な施設を維持している。屋外水銀灯のLED化を実施し、省エネと環境負荷軽減に貢献した。 ・武道指導員連絡協議会において参加しやすい武道教室の実施方法を検討しながら、ワンコインレッスンを継続実施し、気軽に参加しやすい仕組みを継続した。 ・コロナ禍により地域のイベントのほとんどが中止となる中でも、依頼に対しては積極的に参加・協力し、スポーツを通じた地域貢献を行った。														

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	(1)利用者満足度 【事業報告書2(11)】	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
(2)事業成果 【事業報告書2(12)】	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3	3.6	
	当初の事業目的を達成することができたか				
(評価の理由)					
(1)利用者満足度調査は計画に基づき毎年実施しており、調査で寄せられた意見については対応の可否について検討し、可能なものについても優先度を設定し、より迅速な課題解決に努めている。					
(2)利用者満足度は昨年度の78.6%から76.5%へと減少している。幸スポーツセンターの結果と比較すると、コロナに対する不安や施設の対応に対する評価が低くなっており、自由記述からも施設の老朽化や冷暖房・駐車場等、実現困難な要望に対する結果が影響していると推察される。					
(3)成果測定については指定管理者による日々のセルフモニタリングのほか、他都市で管理している施設での事例を情報として共有するなど、幅広い視野を持って満足度向上に取り組んでいる。また、指摘事項についてはPDCAサイクルを活用し、適切に改善に努めている。					
収支計画・実績	(3)効率的・効果的な支出 【事業報告書3(1)】	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	(4)収入の確保 【事業報告書2(2)・3(2)】	計画通りの収入が得られているか	6	3	3.6
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
(5)適切な金銭管理・会計手続 【事業報告書3(3)】	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由)					
(3)計画に基づき効率的かつ安定的に事業を執行している。					
(4)徹底した省エネの取組や照明のLED化などの取組により光熱水費の削減に努めた。					
(5)新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設利用休止などの不可抗力によって収入が減少したこと、利用者の三密への不安に対する配慮から、これまで好評を得てきた販売会等の実施を見送らざるを得なかったことなどから、計画どおりの収入が得られなかった。					
(6)金銭管理・会計手続については二重チェック体制により、確実に実施している。					

サービス向上及び業務改善	(6)適切なサービスの提供 (施設の利用提供) 【事業報告書2(1)・(4)・(8)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	(7)適切なサービスの提供 (トレーニング室を含む個人開放事業) 【事業報告書2(5)・(6)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	(8)適切なサービスの提供 (教室事業) 【事業報告書2(7)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	(9)適切なサービスの提供 (地域との連携、自主事業等) 【事業報告書2(3)・(9)・(10)】	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか				
(10)業務改善によるサービス向上 【事業報告書2(13)】	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3	4.8	
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
(11)利用者の意見・要望への対応 【事業報告書2(14)】	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3	4.8	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	(評価の理由) (6)開館時間の前倒し、閉館時間の延長サービスを継続して実施し、利便性の向上に努めている。 (6)ふれあい ネットシステムに係る独自マニュアルを作成し職員が操作方法を確実に習得するとともに、端末操作に不慣れな利用者に対して親切に適切なサポートを提供するなど、システムの円滑な運用に努めている。 (6)武道教室の一部WEB申込みを継続し、利用者の申請時における負担軽減と利便性の向上を図った。 (7)(8)武道指導員連絡協議会の事務局として各指導者との情報共有を図りながら武道の普及に努めた。コロナ禍による施設の利用控えの影響がある中でも、柔道場活用事業の第2期においては、事前申込み不要・ワンコイン方式での実施により利用者の拡大を図る等、臨機応変に状況に対応して利用促進に取り組んだ。 (7)(8)個人利用・団体利用の利用者数については、前年と比較して約半減となったが、コロナ禍による休館・短縮営業、再開後の人数制限の影響を受けている。 (8)昨年度に続き、武道教室では初心者を対象とした教室を1期開催。更に今年度は全武道教室をワンコイン参加(予約不要、都度参加可能)に変更。気軽に武道を体験できる仕組みを作り、利用者拡大に取り組んだ。 (9)幸スポーツセンターと連携して、地域の様々なイベント等への協力を通じて施設のアピールに取り組み、コロナ禍において地域のイベントの多くが中止となる中でも依頼の的確に対応し、高齢者の健康の維持増進や障害者スポーツの振興に寄与した。 (10)指定管理者自身によるモニタリングや利用者の声に耳を傾け、改善すべき事項に迅速に対応している。昨年度に続き、トイレの快適化や照明のLED化推進などを実施、また、利用者からの要望が高かった備品の設置など、利用者満足度向上のための改善に継続して取り組んだ。 (11)日々寄せられる意見等に対し真摯に耳を傾け、改善が可能なものについては速やかに対応し、難しい場合でも、理由を説明したうえで納得していただけるよう丁寧な説明を行っている。				
組織管理体制	(12)適正な人員配置 【事業報告書4(1)】	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	4	6.4
	(13)連絡・連携体制 【事業報告書4(2)】	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	(14)再委託管理 【事業報告書4(3)】	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	(15)担当者のスキルアップ 【事業報告書4(4)】	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	(16)安全・安心への取組 【事業報告書4(5)・(5)】	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	8	4	6.4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	(17)コンプライアンス 【事業報告書4(6)】	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	4	3.2
	(18)職員の労働条件・労働環境 【事業報告書4(7)】	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	(19)環境負荷の軽減 【事業報告書4(8)】	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
		(評価の理由) (12)人員配置や緊急時の連絡体制は、計画に基づき適正に実施されている。 (13)(14)関係機関との連携、及び再委託管理について、適切に実施されており、幸スポーツセンターとの一括管理による経費削減にも取り組んでいる。 (15)効率的な学習が可能なeラーニングを取り入れるなど、職員のスキルアップに必要な様々な研修に積極的に取り組み、明るく元気で親切的な職員対応が維持されている。CPR(心肺蘇生法)トレーニングを全職員が毎勤務ごとに実施しているほか、責任者に対してMFA(メディックファーストエイド)の資格取得を義務付けていることは、施設の特性上非常に有用であり、率先して取り組んでいることは評価が高い。 (16)避難誘導訓練や救命救急訓練を定期的に行い、万一来備え各自が役割を認識している。また「災害時等の応急措置に関する計画」を策定し、危機管理は適切に行なわれている。 (17)(18)コンプライアンス、職員の労働条件等、適切に実施されている。 (19)電気契約内容の変更や徹底した省エネの取組、照明のLED化などにより電気料を削減するとともに環境負荷低減の取組を推進した。			

適正な業務実施	(20)施設・設備の保守管理【事業報告書5(1)】	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか。	6	4 (× 0.8)	4.8
	(21)管理記録の整備・保管【事業報告書5(2)】	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	(22)清掃業務【事業報告書5(3)】	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか。	6	3 (× 0.6)	3.6
	(23)警備業務【事業報告書5(4)】	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか。			
	(24)外構・植栽管理【事業報告書5(6)】	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか。			
	(25)備品管理【事業報告書5(7)】	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか。			
<p>(評価の理由)</p> <p>(20)施設の老朽化が進む状況下において、施設に異常がないか日々確認し、適切に修繕・補修を行うなどして、利用者の不満や事故につながる要因を未然に防いでいる。また、不具合が発生した際にも状況を素早く把握し、関係機関に連絡、迅速に対処した。</p> <p>(21)業務日誌等も適切に整備・保管されている。</p> <p>(22)外構も含め施設全体を毎日清掃しており、植栽管理や側溝清掃も定期的を実施して、良好な施設環境を維持している。</p> <p>(23)(24)(25)施設の警備、植栽管理、備品類の管理を適切に実施している。</p> <p>・基本的な日常業務を適切に実施、継続することにより、円滑な館運営を可能にしていることを評価したい。</p>					

4. その他加算

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加算	(26)市の政策課題への取組【事業報告書6(5)】	川崎市スポーツ推進計画やかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、及び地域包括ケアシステムの構築に向けた自助・互助の取組の推進	/	/	1
	<p>(評価の理由)</p> <p>幸スポーツセンターと連携して下記に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動及び障害者スポーツの普及を目的として市内小学校や地域のイベントなどに出向きボッチャ体験の講師を派遣した。 ・障害者スポーツ大会(卓球)に障害者スポーツ指導員を派遣するなど、積極的に障害者スポーツの普及活動に取り組んだ。 ・障害者スポーツデーの通年開催や施設内でのボッチャ体験会の開催など、障がい者スポーツを気軽に体験できる場の提供に取り組んだ。 				

5. 総合評価

評価点合計	66.2	評価ランク	C
-------	------	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>・民間のスポーツクラブの運営で得たノウハウや、当施設を3期15年に渡って管理する中で得た経験を活かしながら、地域における武道の活動拠点として安定した管理運営を行っており、武道を通じた心身の健康維持・増進に寄与している。</p> <p>・施設の老朽化が進む状況下において、施設・設備の維持管理を適切に行い、利用者が安全かつ快適にスポーツを楽しめる環境を提供している。</p> <p>・e-ラーニングなどの効果的なツールを活用しながら接遇研修や運動指導研修を実施しているほか、救急救命研修等も徹底して実施されており、リスクがある施設であるとの意識を常に持ち地道に取り組むことにより、利用者が安全・安心・快適に利用できる環境を整えていることは評価できる。</p> <p>・武道指導員連絡協議会と連携して、熟練の指導者による本格的な指導を受けられる機会を提供している。</p> <p>・昨年度開始したワンコインレッスンを拡充し、全武道教室をワンコインレッスン化(予約不要・都度参加可能)するなど、創意工夫を凝らしながら利用者拡大に向けて取り組んでいる。</p> <p>・ヨガ・ピラティスや親子体操教室を開催し、館の有効活用を図っている。また、女性向けヨガ・ピラティス系教室や親子のスキンシップを目的とした体操教室など、これまで武道館に縁のなかった方々のターゲットを明確にして、施設の魅力に触れていただけるような取組を継続して実施している。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止策として施設の利用休止等を実施したことから、全体の利用者数は減少したが、緊急事態宣言解除直後の第2期の柔道場活用事業を事前申込み不要・ワンコイン制で実施する等、状況に臨機応変に対応し、利用者拡大に努めた。</p>

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>・施設の老朽化が進んでいることを十分に考慮し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の安全を最優先に考えた運営を継続し、顧客満足度の向上を図る取組に努めること。</p> <p>・引き続き武道指導員連絡協議会と連携し、初心者が気軽に参加できるような仕組み作りについて、引き続き検討、試行を重ねること。</p> <p>・施設全体の利用者拡大のため、武道での利用は当然のことながら、それ以外での利用についても、積極的に検討し、幸スポーツセンターと同様に地域のスポーツ活動の拠点として誰もが気軽に運動を楽しめる企画を実施すること。</p> <p>・これまで取り組んできた障害者スポーツの普及・パラムーブメントの機運を着実に推進し、市の施策である「かわさきパラムーブメント推進ビジョン」に基づき、大会終了後の社会的遺産が形成されるような取組を推進すること。</p>
